

令和元年度

新潟市新バスシステム事業評価委員会

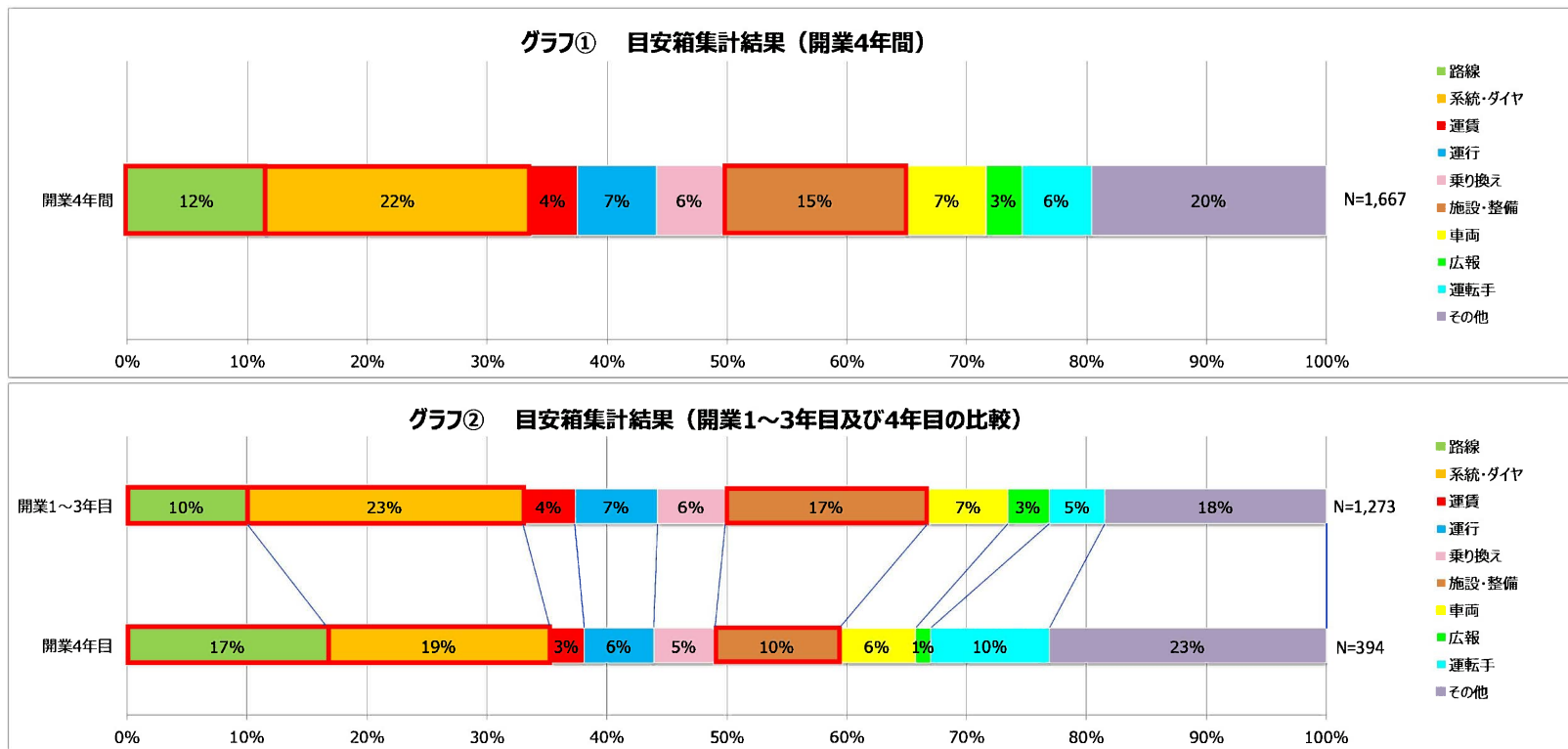
新バスシステム改善目安箱  
に寄せられた意見について

目安箱とは

- 平成 27 年 9 月 5 日に開業した「BRT・新バスシステム」について、これからも利用しやすいバス交通にする為、皆さまからのご意見やご要望をお聞かせいただくために設けています。
- 意見をいただく方法は、電話や市長への手紙のほか、WEB でも受け付けています。

※平成 30 年 4 月以降、都市交通政策課所管の「公共交通に関するご意見・お要望をお受けしています」のサイトのバス交通への意見も含めているため、開業 4 年目の意見数が 2、3 年目よりも大幅増となっています。

意見数の傾向



【集計結果の分析】

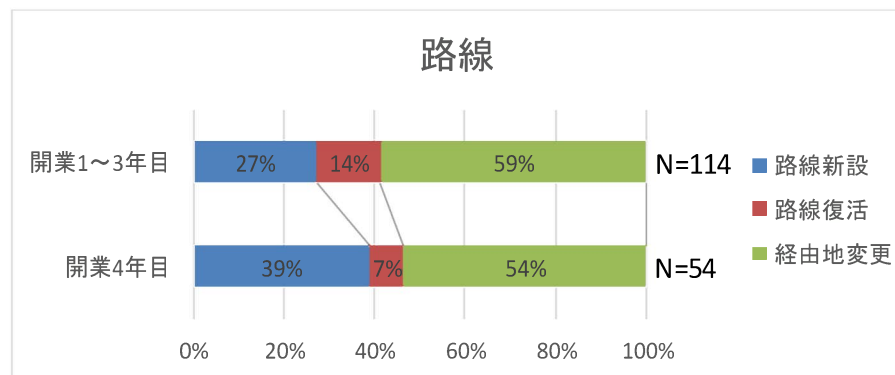
- グラフ①より「路線」「系統・ダイヤ」「施設・整備」に関する意見が多い。
  - グラフ②より開業 3 年間と開業 4 年目を比較すると、「路線」に関する意見は増加、「系統・ダイヤ」に関する意見は微減、「施設・整備」に関する意見は減少となっている。
- ⇒「路線」「系統・ダイヤ」「施設・整備」について意見を細分化し、これまで市や交通事業者が行ってきた施策について、目安箱にどのように反映されてきたかを確認する。

※今回の集計のほか、ダイヤに関し、「西小針線 21 時 15 分発の快速便の復活」に特化した要望がこれまでの総計で 1,603 件ありました。この意見については、運行事業者に確認し、平成 29 年 3 月にホームページにて下記のように回答した。

【回答】21 時 15 分発・西小針線の快速は、同時間帯の各停便と比較して 10 人程度少ないことや前後 5 分に各停便があることをふまえ、平成 28 年 11 月ダイヤ改正において減便を行ったものです。

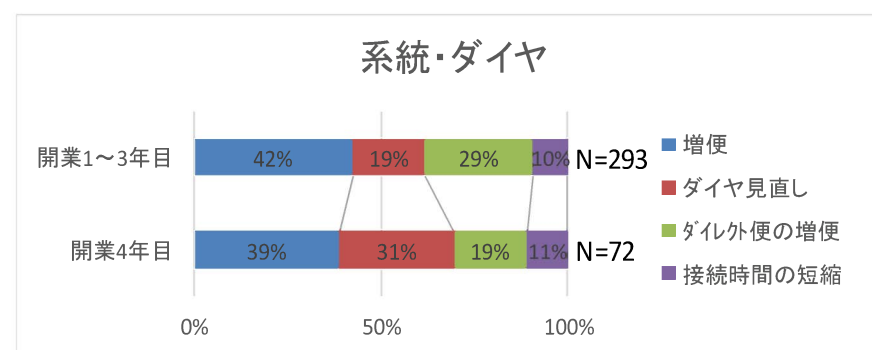
新バスシステム改善目安箱に寄せられたこれまでの意見について(H27.9.5~R1.9.4)

「路線」における集計・分析



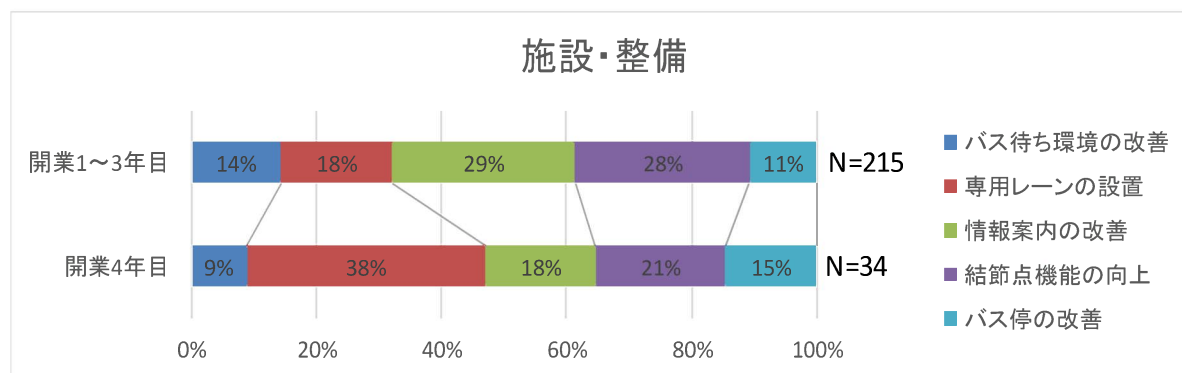
- 「路線復活」が減少。「経由地変更」が微増。「路線新設」が増加。  
→開業以降、時間の経過とともに、開業以前の路線に戻してほしいといった意見から、個々の利用形態を踏まえて新たな路線の設定といった意見にシフトしてきているものと考えられる。

「系統・ダイヤ」における集計・分析



- 「ダイレクト便の増便」は減少。「ダイヤ見直し」は増加。  
→ダイレクト便の大幅な増便は平成 28 年 3 月以降実施していないものの、ダイレクト便の増便に関する意見は減少している。一方で、ダイヤの見直しを求め意見が増加している。

「施設・整備」における集計・分析



「専用レーン設置」に関する主な意見  
 ・ 駅南方面への設置  
 ・ BRT 区間・駅南両方面への設置  
 「情報案内の改善」に関する主な意見  
 ・ 利用しづらい。  
 ・ 機能の増強、増設。

- 「バス待ち環境の改善」と「情報案内の改善」、「結節点機能の向上」は減少。「専用レーンの設置」「バス停の改善」が増加。  
→減少している項目については、改善を図っているものの、意見が減少するほどの効果は少なく、当初の意見が蓄積しているものと考えられる。  
→専用レーンの設置については、平成 28 年度に社会実験を実施したものの、実現には至っておらず、意見が増加しているものと考えられる。  
→「バス停の改善」は、BRT 区間などのバス停の整備が進んでいることに対して、目安箱へ意見を提出している利用者が乗降するバス停の待合環境の整備が進んでいないため、意見が増加しているものと考えられる。